

[通常機体] サ M 「機動戦士ガンダム」

ザクレロ

機体名	ザクレロ	画像
型式番号	MA-04X	
英語名	ZAKRELLO	
所属	ジオン公国軍	
パイロット	デミトリー	
装甲材質		
装備	拡散ビーム砲（大型拡散ビーム砲1門）ヒート・ナタ×2（クロー）（カマ）（ザクレロカッター2基）連装ミサイルランチャー（4連装ミサイル発射管2基）	
作品名	機動戦士ガンダム	
参考書籍	GジェネレーションF 模型情報・別冊 MS バリエーションハンドブック2 機動戦士ガンダム大辞典講談社のポケットカード(8) 機動戦士ガンダム ジオン軍ミリタリーファイル	

内容

汎用性を主とする MS とは異なる「高い攻撃力を持った高速戦闘兵器」をコンセプトに開発されたモビルアーマーの最初期型。

機動性が極端に低く、攻撃を回避し得なかったため正式採用は見送られ、新型の武装である拡散ビーム砲の評価試験のためのプラットフォームとして運用された。

数機が生産されたうちの1機は、ジオン突撃機動軍ザンジバル隊に配備、デミトリー曹長が搭乗した。

ア・バオア・クー守備隊のメデューサ隊にも配備されていたともいわれているが、詳細は不明である。

Gジェネ

ジオン公国軍の試作型 MA。

初期に開発された試作 MA の1つで、高速・高火力をコンセプトとして設計されている。

拡散ビーム砲、複眼センサー、ヒートホーク応用の鎌形クローなど様々な新技術が用いられており、実験機としての印象が強い。

機動力には問題がなかったが、運動性や加速性があまりにも低く、廃棄処分が決定された。

その後一兵士の独断によってホワイトベース隊への攻撃に使用されたが、撃破されている。

MSV ハンドブック

試作設計は実の所 ビグロ、グラブロ に先行してすすめられていたが、開発メーカーの不幸から推進機の出力不足で採用機としてのナンバーは与えられずに放棄されていた。

但し武装のテストベースとして第3区テストセンターで拡散ビーム砲が装着されて4回のテストに使用された。

機動戦士ガンダム大辞典

宇宙戦用モビルアーマー。

拡散ビーム砲 1 門、ミサイル発射口 8 門、接近戦用のナタ状の両腕などを装備するが、機動性が悪くテスト途中で廃棄される予定であったが、功をあせるデミトリーが無断で出撃し、G パーツを付けたガンダムにやられてしまう。

ポケットカード

ジオン軍の宇宙戦用モビルアーマー。

機動性が悪くテスト半ばにして廃棄される予定のプロトタイプが 1 機、功をあせたデミトリー曹長によって実戦に出たのみである。

大型拡散ビーム砲は命中率が高いが、破壊力はそれほどでもない。

ミリタリーファイル / MA-05 の項目より

MA-05 と同時に北米カリフォルニアベースで開発が進められていた「ザクレロ」は、MIP 開発部による幾たびもの設計変更で大幅に完成が遅れ、実際に試作機が完成したのは、MA-05 の試作機の完成から 1 ヶ月後であった。

採用が見送られたこの機体は、開発用の機体コードが与えられず、MIP 内においてもコードネームは「ザクレロ」と呼ばれていた。

それでも結局各種武装のテストベース機として使用されることとなり、改めて MA-04X の機体ナンバーを与えられている。

カリフォルニアベースで拡散メガ粒子砲の射撃実験に従事し、4 回のテストに使用された後、グラナダに移送され、引き続き射撃実験が各種条件下でおこなわれる予定である。

備考

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長 (PC)	25m
総重量 (PC)	185t
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
出力 (PC)	18 万馬力
最高速度 (PC)	マッハ 5.2 (大気圏外)
スラスタ推力	
センサ有効半径	